

ATTACHMENT MCI- 3000
取り扱い説明書

(VER H10 S0111)

作成 2002/ 07/ 15
改定 2002/ 11/ 27
改定 2003/ 02/ 05
改定 2003/ 02/ 14
改定 2003/ 04/ 30
改定 2003/ 09/ 24
改定 2003/ 12/ 17
改定 2003/ 12/ 18
改定 2004/ 06/ 10
改定 2004/ 06/ 14

- 目次 -

1 . 適用	P . 2
2 . 概要	P . 2
3 . フロントパネル	P . 3
4 . リアパネル	P . 9
5 . コネクタ・ヒューズ	
5-1 . REMOTE コネクタ	P . 12
5-2 . VTR コネクタ	P . 14
5-3 . PANEL コネクタ	P . 16
5-4 . TALLY IN コネクタ	P . 17
5-5 . TALLY OUT コネクタ	P . 17
6 . MENU	
6-1 . MENU 設定について	
バージョン情報及びスタンバイ OFF TIMER 設定	P . 18
ERROR LOG 設定	P . 18
COMMAND LOG 設定	P . 20
PQ-REC 設定	P . 22
PQ-PB 設定	P . 23
BEEP 設定	P . 23
ON AIR 設定	P . 23
REMOTE 設定	P . 24
SYSTEM 設定	P . 24
6-2 . MENU の初期化について	P . 26
6-3 . ERROR 表示について	P . 26
7 . その他の機能	P . 26
8 . PQフォーマット	
8-1 . ストップコード記録フォーマット	P . 27
8-2 . 確認用キュー記録フォーマット	P . 28
8-3 . カム用 PQ 検出フォーマット	P . 28
9 . 一般仕様	P . 29
10 . 概要ブロック	P . 30
11 . 接続参考図	P . 31

1. 適用

本装置は武蔵製 ATTACHMENT(MCI-3000)について規定します。

尚、本仕様書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：SONY 製 VTR (HDW-A2100 , HDW-2000)

2. 概要

MCI-3000 の主な機能は下記の通りです。

< CUE CONTROL 機能 >

- ・ ストップコードの検出機能を装備しています。
- ・ ストップコードの記録 / 消去機能を装備しています。

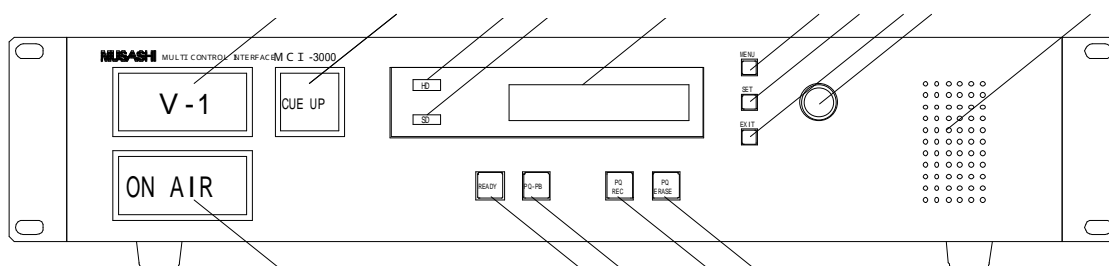
< OA TALLY 機能 >

- ・ REMOTE コネクターとは別に OA TALLY 入力として TALLY IN コネクターを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクターを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

< その他の機能 >

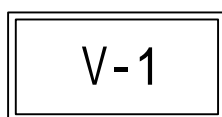
- ・ リファレンスは 3 値 SYNC 1125 / 59.94Hz、525 i / 59.94 B.B に対応しています。
(選択は、リアパネルのスイッチにて切換可能)

3. フロントパネル



MCI-3000 の機能を使用する時は VTR 本体の REMOTE-1(9P)スイッチ、REMOTE-2(50P)スイッチを ON (点灯) に設定して下さい。* VTR の不揮発性 RAM に所定の設定が必要になります。

3-1. 号機表示灯 (上記外観図)



スクリーン色 : 白色

LED 色 : 赤色 / 緑色 (同時点灯でアンバ -色)

- (a) MCI-3000 の電源投入時、表示灯はアンバ -色で点灯します。
- (b) リファレンス信号がない時及び、VTR がローカル状態の時アンバ -色と消灯を交互に繰り返します。* 1 (メニューにより警告音の ON/OFF が可能です)
- (c) アラーム状態になると、赤色と緑色を交互に繰り返します。

9 PIN プロトコルにて HARD ERROR を検出した場合、号機表示灯を赤緑交互点灯させアラームを出すと共に警告音を出します。

READY スイッチを押すことにより警告音を消すことができます。

アラーム表示は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

* 1 VTR の不揮発性 RAM に所定の設定を実施する必要があります。

3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図)

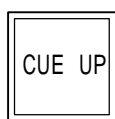


スクリーン色 : 赤色

LED 色 : 赤色

- (a) MCI-3000 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) REMOTE コネクター又は、OA TALLY コネクターに OA TALLY-C を受けている間、表示灯は赤色で点灯します。

3-3 . CUE UP 表示灯 (上記外観図)



スクリーン色 : 緑色

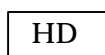
LED 色 : 緑色

- (a) PQ-PB 機能で STOP CODE 又は CUE TONE を検出すると、VTR は停止し、CUE UP 表示灯は緑色に点灯します。このことは STOP CODE 又は CUE TONE 検出によりストップしたことを表します。* 2
但し、PQ-PB 機能が検知禁止状態の時は除きます。

* 2 停止位置から ± 1 0 フレーム以内では点灯状態です。

(ジョグにてコマ送り等した場合、VTR の CTL が正常に読めない為、± 1 0 フレームを超えても消灯しない場合があります。)

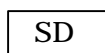
3-4 . TAPE FORMAT (上記外観図)



スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アパ - 色

- (a) INJECT されたテープのフォーマットが HD フォーマットの時に点灯します。
動作する為には、HDW-A2100、HDW-2000 の VTR REMOTE(9P) の設定が有効になっていなければなりません。
- (b) HDW-A2100、HDW-2000 以外の機種には対応していません。
- (c) STOP CODE による検出 STOP が可能になります。
- (d) STOP CODE による検出音(BEEP)を出すことができます。



スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : 緑色

- (a) INJECT されたテープのフォーマットが SD フォーマットの時に点灯します。
動作する為には、HDW-A2100 の VTR REMOTE(9P) の設定が有効になっていなければなりません。
- (b) HDW-A2100 以外の機種には対応していません。
- (c) CUE TONE による検出 STOP が可能になります。
- (d) CUE TONE による検出音(BEEP)を出すことができます。

デフォルトは HD、SD とともに消灯

3-4 . READY スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) READY スイッチと同時に押すことで各 PQ スイッチ及び MENU スイッチの機能が有効になります。

3-5 . PQ-PB スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンパ色

- (a) READY スイッチと PQ-PB スイッチを同時に押すと VTR は PLAY 状態になり、STOP CODE を検知すると VTR はストップします。
この時、CUE UP 表示灯が点灯します。
- (b) この一連の動作中、PQ-PB スイッチが点灯します。
- (c) REMOTE コネクターに PQ-PB コマンドを受けた時も上記動作となり、PQ-PB スイッチは点灯します。

3-6 . PQ-REC スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ
スクリーン色 : 赤色
LED 色 : 赤色

- (a) テープが停止状態で READY スイッチと PQ-REC スイッチを同時に押すと VTR は PQ-REC シーケンスを実行し、STOP CODE 及びガイド用の 400Hz CUE TONE を記録します。
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。
- (c) HDW-2000 以外の機種には対応していません。
CUE UP 中は 2 重書き禁止の為、PQ-REC 動作に入りません。

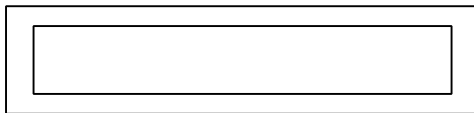
3-7 . PQ-ERASE スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モノタリ
スクリーン色 : 白色
LED 色 : アンバー色

- (a) テープが PQ 検出停止状態で READY スイッチと PQ-ERASE スイッチを同時に押すと VTR は PQ-ERASE シーケンスを実行し、STOP CODE 及び 400Hz CUE TONE を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。
- (c) HDW-2000 以外の機種には対応していません。

3-8 . LCD 表示器 (上記外観図)



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) READY スイッチと MENU スイッチを同時に押すことにより MENU モードに移行します。
- (c) 通常はステータス表示器として機能します。
- (d) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容*がサイクリック表示されます。(複数 ERROR が同時発生してる場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます)

* エラー内容の詳細については、「6-3 . ERROR 表示について」を参照して下さい。

3-9 . MENU スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : アンバ`-色
LED 色 : アンバ`-色

- (a) READY スイッチと MENU スイッチを同時に押すと LCD 表示器にメニュー (設定項目) が表示され、MENU スイッチが点灯します。
- (b) MENU スイッチ点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチが消灯します。

3-10 . SET スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : アンバ`-色
LED 色 : アンバ`-色

- (a) SET スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SET スイッチは押した瞬間のみ SET スイッチが点灯します。

3-11 . EXIT スイッチ (上記外観図)



接点動作 : モンタリ-
スクリーン色 : アンバ`-色
LED 色 : アンバ`-色

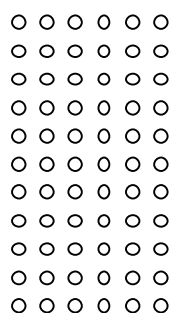
- (a) EXIT スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXIT スイッチは押した瞬間のみ EXIT スイッチが点灯します。

3-12 . メニュー設定用ツミ (上記外観図)



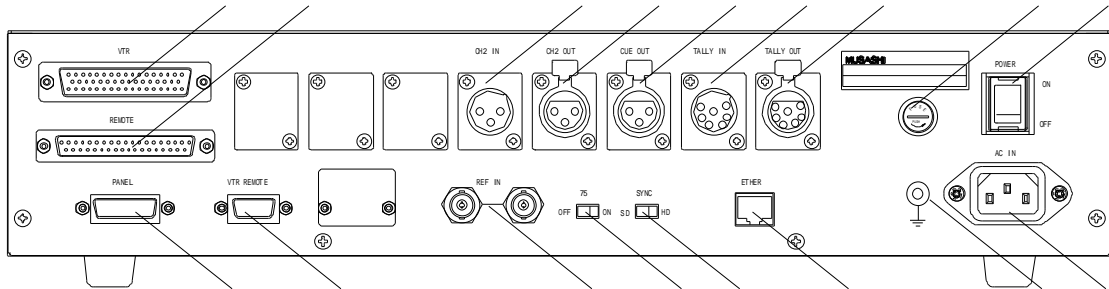
- (a) メニュー設定用ツミを回すことにより、メニュー設定項目を変更することができます。
- (b) MENU ボタン点灯中のみ機能します。

3-13 . ブザー (上記外観図)



- (a) テープフォーマットが HD の場合、PQ-PB 時 STOP CODE を検知すると検出音 (BEEP) を出力します。
- (b) テープフォーマットが SD の場合、PQ-PB 時 CUE TONE を検知すると検出音 (BEEP) を出力します。
- (c) MENU の設定によりブザー大、ブザー小、ブザーOFF が選べます。
- (d) PQ-PB、PQ-REC、PQ-ERASE 動作が正常終了しなかった場合、「ピピピッ」とアラーム音が出力されます。
- (e) PQ-PB 中 VTR の STOP 釦を押した場合の「ピピピッ」音を MENU 設定により ON/OFF できます。
- (f) アラーム音 (VTR ハードエラー)、ERROR 音 (メニューで ON/OFF 可能) を出力します。

4 . リアパネル



4-1 . REMOTE コネクタ- (上記外観図)

- (a) 上位システムからのパ-allel制御を接続します。
- (b) REMOTE コネクタ-からの制御は VTR が待機状態の時のみ有効です。
(VTR が待機状態とは、VTR の REMOTE ボ-タンの 9PIN(RS-422A)及び 50PIN(パ-allel)がともに点灯時をさします。)
- (c) 詳細はコネクタ-ピ-ンサイン / REMOTE コネクタ-を御参照下さい。

4-2 . VTR コネクタ- (上記外観図)

- (a) VTR の PARA I/O コネクタ-と接続します。
(Dsub50P(M)コネクタ-と Dsub50P(M)コネクタ-の 1 対 1 ケ-ブルを使用します。)

4-3 . VTR REMOTE コネクタ- (上記外観図)

- (a) コント-ロールする VTR の REMOTE-1 IN(9P)コネクタ-と接続します。
- (b) パ-allel制御を RS-422A に変換して VTR をコントロールします。

4-4 . PANEL コネクタ- (上記外観図)

- (a) 外部 PANEL 用コネクタ-です。
- (b) PANEL コネクタ-には PQ-PB-C , PQ-REC-C , PQ-ERASE-C ,
PQ-PB-S , OA TALLY-S , PQ-REC-S , PQ-ERASE-S が装備されています。
- (c) 詳細はコネクタ-ピ-ンサイン / PANEL コネクタ-を御参照下さい。

4-5 . CH-2 IN コネクタ- (上記外観図)

- (a) VTR の A CH-2 OUT コネクタ-と接続します。
(HDW-A2100 のみ使用します。)

- 4-6 . CH-2 OUT コネクタ (上記外観図)
- (a) CH-2 IN コネクタに接続された VTR の A CH-2 OUT コネクタからの音声信号を出力します。(HDW-A2100 のみ使用します。)
- 4-7 . CUE OUT コネクタ (上記外観図)
- (a) VTR の CUEトラックヘガ 1 用の CUE TONE を記録する時、VTR の CUE IN コネクタと接続します。(HDW-2000 のみ使用します)
- 4-8 . TALLY IN コネクタ (上記外観図)
- (a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン / TALLY IN コネクタを御参照下さい。
- 4-9 . TALLY OUT コネクタ (上記外観図)
- (a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。
- (b) 詳細はコネクタピンプアサイン / TALLY OUT コネクタを御参照下さい。
- 4-10 . Ether コネクタ (上記外観図)
- (a) Ether NET (100BASE T) 制御ポートです。
- (b) ソフト Version Up などで使用します。
- 4-11 . REF IN コネクタ (上記外観図)
- (a) 局内同期信号を入力します。
- (b) スイッチ設定により 1125(3 値 SYNC) / 525(B.B)の選択ができます。
- (c) REF IN のスルー出力ができます。
- (使用するときは、75 終端 SW は OFF にします。)
- 4-12 . 75 スイッチ (上記外観図)
- (a) 75 スイッチにより 75 終端の ON / OFF 設定ができます。
- 4-13 . SYNC スイッチ (上記外観図)
- (a) SYNC スイッチにより 1125(3 値 SYNC) / 525(B.B)の切換ができます。
- 4-14 . POWER スイッチ (上記外観図)
- (a) 電源の ON / OFF するためのスイッチです。

4-15 . FUSE 刺ダ - (上記外観図)

(a) 2A のヒューズ を使います。

4-16 . AC IN コネクタ (上記外観図)

(a) 付属の電源コード を使って、電源コネクタに接続します。

4-17 . アース端子 (上記外観図)

(a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5. ネットワークサイン

5-1. REMOTE ネットワーク



VTR がモード状態の時 (9PIN 及び 50PIN の REMOTE ホット点灯時) のみ有効です。

REMOTE ネットワーク

REMOTE ネットワークからのコマンド及びステータスの受け渡しは常時有効です。*
REMOTE ネットワークから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C,PQ-REC-C を受けると VTR のコントロールパネルで設定したイサート、アングル状態を解除します。
PQ-PB-C の動作仕様は、コントロールパネルにある READY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の検知動作と同じです。

VTR のドラムが停止している時は、ドラムを回転(ST-BY ON)させます。

VTR が走行中は、ストップになります。

OA TALLY-C を受けている間は下記の動作になります。

- ・コントロールパネルにある ON AIR 表示が赤く点灯します。
- ・OA TALLY-C を受けると VTR のコントロールパネルが無効になります。*
- ・OA TALLY-C を受けると PQ-PB 機能は無効となり、
PQ-PB 動作中に PQ 信号を検知しても、VTR はストップしません。*
- ・OA TALLY-C を受けると VTR は PLAY になります。*

PQ-REC-C の動作仕様は、コントロールパネルにある READY/PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。

PQ-PB-S はコントロールパネルの READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、

PQ-PB 動作になっている間又は、REMOTE ネットワークに PQ-PB-C を受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。

VTR が、STOP 状態であつドラムが回転している時に点灯します。*

REM OK-S は ATTACHMENT と VTR が通信状態(VTR の REMOTE STATUS 9PIN と 50PIN が点灯したとき)で、かつ VTR にテープが装填されている時 REMOTE 端子へメイク接点を出力します。

DET STOP-S は PQ-PB 機能により、PQ 信号を検知して VTR がストップしている間出力します。

PQ-REC-S はコントロールパネルの READY/PQ-PB スイッチが同時に押され、

PQ-REC 動作になっている間又は、REMOTE ネットワークに PQ-REC-C を受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。

LOCAL DIS-S は VTR が LOCAL DISABLE になっている間出力します。

MENU 設定「70:REMOTE STATUS OUT」の REM / LOC&REM に関係なく、ERROR 状態の時は、常時出力します。

* MENU の設定によります。

5-2 . VTR コネクター

MCI-3000

使用ピン欄は、MCI-3000 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。

Hddb-50S

又、入出力欄は VTR 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	変更データ値	デフォルト設定	使用ピン
1	IN	LETTERBOX MODE-C	71,00,F2,FC,01,00	#F.F	
2	OUT			REC SW OUT	
3	OUT			PLAY SW OUT	
4	OUT			STOP SW OUT	
5	OUT			ENTRY SW OUT	
6	OUT			REF SYSTEM ALARM OUT	
7	OUT			CF LOCK OUT	
8	OUT			DRUM LOCK OUT	
9	OUT			CAP LOCK OUT	
10	OUT	LETTERBOX MODE-S	03,00,F2,03,01,00	#CUE PRESET OUT	
11	OUT	EDGE CROP-S	03,00,F2,03,00,00	#TC PRESET OUT	
12	OUT			#OXIDE/METAL OUT	
13	OUT			#TAPE THICKNESS	
14	OUT			SPARE	
15	OUT			SPARE	
16		+12V OUT			
17		C-GND			
18	IN	EDGE CROP-C	71,00,F2,FC,00,00	#PREROLL IN	
19	IN			#ST-BY ON IN	
20	IN			#REW IN	
21	IN	LOCAL ENABLE	71,00,55,FC,02,00	#ENTRY IN	
22	IN	LOCAL DISABLE	71,00,55,FC,00,00	#ST-BY OFF IN	
23	IN			#EJECT IN	
24	OUT			REC OUT	
25	OUT			CH CNDITION RED OUT	
26	OUT	SP TAPE-S	02,02,2B,01,00,00	#ASSEMBLE PRESET OUT	
27	OUT	REMOTE 50P	02,00,19,01,00,00	#EDIT OUT	
28	OUT			#EJECT OUT	
29	OUT			#ANALOG/DEGITAL OUT	
30	OUT			#REEL HUB OUT	
31	OUT			REM2 SETTING DATA RESET OUT	
32	OUT			ALL REC INHIBIT OUT	
33		S-GND			
34	IN			#PLAY IN	
35	IN			#STOP IN	
36	IN			#REC IN	
37	OUT			REV LAMP OUT	
38	OUT			#DA2 PRESET OUT	
39	OUT			#DA1 PRESET OUT	
40	OUT			FWD LAMP OUT	
41	OUT			#DA4 PRESET OUT	
42	OUT			#DA3 PRESET OUT	
43	OUT			STOP OUT	
44	OUT			#VIDEO PRESET OUT	
45	OUT			#INSERT PRESET OUT	
46	OUT			STBY ON OUT	
47	OUT			PLAY OUT	
48	OUT			REMOTE OUT	
49	OUT			ALARM OUT	
50	OUT			#PREROLL OUT	

VTR 不揮発性RAMの設定法についてはSONYのVTRマニュアルをご覧ください。

操作例 (SONY HDW-A2100 のマニュアル参照)

HDW-A2100 の電源を入れます。

フロントパネル上の[HOME]を押しながら[MENU]を選択します。

ダイヤルつまみを回して「M3: OTHERS」を選び[SET]を押します。

OTHERS 階層に入ります。

次に、ダイヤルつまみを回して「M39: 50PIN DATA ASSIGN」を選び[SET]を押します。

ダイヤルつまみを回して「M390: INPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながらダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。

終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

ダイヤルつまみを回して「M391: OUTPUT PIN ASSIGN」を選び[SET]を押します。変更するピン No. のデータにあわせ、[HOME]を押しながらダイヤルつまみを回して数値を入れていきます。

終了したら、[EXIT]を押し、上の階層に戻ります。

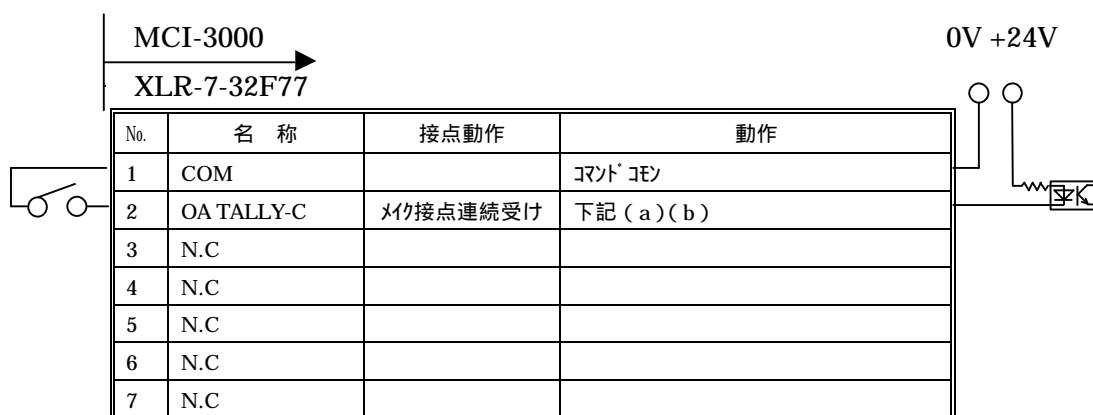
5-3 . PANEL コネクタ-



PANEL コネクタ-

- (a) PANEL コネクタ-からのマント° 及びステータスの受け渡しはマント° 社と同等です。
- (b) OA AIR LED OUT は REMOTE コネクタ-又は TALLY IN コネクタ-に OA TALLY-C を受けている間出力します。

5-4 . TALLY IN ｺﾝﾀｸﾞ



TALLY IN ｺﾝﾀｸﾞ

- (a) OA TALLY-C は常時有効です。
- (b) OA TALLY-C の動作仕様は REMOTE ｺﾝﾀｸﾞの OA TALLY-C と同じです。

5-5 . TALLY OUT ｺﾝﾀｸﾞ



TALLY OUT ｺﾝﾀｸﾞ

- (a) OA TALLY OUT は常時有効です。
- (b) OA TALLY OUT は REMOTE ｺﾝﾀｸﾞ又は、TALLY IN ｺﾝﾀｸﾞに OA TALLY-C を受けている間出力します。

6 . MENU

6-1 . MENU 設定について

バージョン情報及びスタンバイ OFF TIMER 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
01:SYSTEM INFO	表示のみ	VER H10 S0111 S2 などバージョン情報を表示*	
02:STBY OFF TIMER	DISABLE	ATMTからのタイマ設定及びRESETは行いません	
	RESET	ATMT から STBY-OFF タイマ RESETのみ行う	
	30sec	ATMT のタイマ設定により ST-BY OFF	
	60sec		
	03min		
	05min		
	08min		
	15min		
30min			

* "VER H10 S0111 S2" 表示の意味について

"H10" : PLD のバージョン番号

"S0111" : ファームのバージョン番号

"S2" : 保守情報

ERROR LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
10:ERROR LOG DISP	00~99	00~99 エラーログ表示	00
11:ERROR LOG SAVE	SAVE	エラーログの保存	
	EXIT	そのまま抜ける	
12:ERROR LOG ERAS	EXIT	そのまま抜ける	
	ERASE	エラーログの消去	

10:ERROR LOG DISP について

・本機で検知される外部エラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

"E1010:EXT REF ER"	本機へのリファレンス入力途絶えた場合
"E1011:REF TYP ER"	本機へ SYNC スイッチ設定と違う REF が入力された場合
"E1020:VTR COM ER"	VTR との RS422 通信が途絶えた場合
"E1030:VTR H/W ER"	VTR から H/W ERROR のアンサーがあった場合
"E1040:VTR REF ER"	VTR から REF VD MISS のアンサーがあった場合
"E1050:VTR LOCAL "	VTR から LOCAL のアンサーがあった場合
"E1060:REM50P OFF"	VTR からの REM50P 信号が OFF になった場合

"E10F0:PQPB ????" PQ-PB が正常終了しなかった場合
"E10F1:PQREC ????" PQ-REC 正常終了しなかった場合
"E10F2:PQERA ????" PQ-ERASE が正常終了しなかった場合

???? は サービスマンコードです。

・エラーログ表示例

"00:E1010:EXT REF ER" 最後に発生したエラー内容です。
"01:E1020:VTR COM ER" 最後の次に発生したエラー内容です。

先頭の 2 桁の数字は、ログ番号 "00 ~ 99" です。
ログ番号が"99"を超えた場合、古いエラーログ番号から消去され、
最新エラーログ番号が上書きされます。

・参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、
H/W 故障や致命的バグに関連するような不具合が発生した場合、
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

例：起動時にメモリ異常が検知された場合等
LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT "
LCD 下段: "E0005: SRAM Err! "

致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も
あり、システムエラーはログしていません。

11:ERROR LOG SAVE について

- ・ エラーログを保存したい時 SAVE します。

MCI-3000 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE することによりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

12:ERROR LOG ERAS について

- ・ エラーログを消去したい時に ERASE します。

COMMAND LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
20:COM LOG DISPLAY	000 ~ 999	000 ~ 999 コマンドログ表示	000
21:COM LOG SAVE	SAVE	コマンドログの保存	
	EXIT	そのまま抜ける	
22:COM LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	
	ERASE	コマンドログの消去	

20:COM LOG DISPLAY について

- ・ ログ表示例: REMOTE GPI の PGPB が操作された場合
"000:R:PGPB-C-0 <0:15" PGPB が離された (最後のログ)
"001:R:PGPB-C-1 < 9:29" PGPB が押された (最後の次のログ)

先頭の 3 桁の数字は、ログ番号 "000 ~ 999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

先頭から 5 桁目のアルファベット "R","V","P" は GPI の入力ポートを表します。

"R" は REMOTE ネットワークからのログを示します。

"V" は VTR ネットワークからのログを示します。

"P" は EXT PANEL ネットワークからのログを示します。



先頭から 7 桁目からのアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

・ REMOTE GPI 入力コマンドログ表示

"R:PQPB-C"

"R:PLAY-C"

"R:OATLY"

"R:STBY-C"

"R:REC-C"

"R:STOP-C"

"R:FF-C"

"R:REQ-C"

"R:PQREC-C"

"R:LETR-C"

"R:EDGE-C"

・ VTR GPI ステータス ログ 表示

"V:SP-TAPE"

"V:LETR-S"

"V:REM50P"

"V:EDGE-S"

"V:REM-OUT"

・ EXT PANEL GPI 入力 コマンドログ 表示

"P:READY"

"P:PQPB"

"P:PQREC"

"P:PQERA"

"P:ONAIR"

後ろに付いている C-0 又は C-1 はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

“C-1” は立ち下がりを示します。

“C-0” は立ち上がりを示します。

先頭から 17 桁目の一番後ろに記述してある“ <0:15 ”は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。

例えば、“ 0:15 ”は前回の变化から 0 秒 15 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は”0:00”（0秒0フレーム）～ ”9:29”（9秒29フレーム）
です。

”9:29”（9秒29フレーム）以上経過している場合は<FULL

21: COM LOG SAVE について

- ・コマンドログを保存したい時 SAVE します。

MCI-3000 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

22: COM LOG ERASE について

- ・コマンドログを消去したい時に ERASE します。

PQ-REC 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
30:PQ-REC TIME	03S00F ~ 33S00F	PQ-REC 開始点の時間設定	04S00F.
31:PQ-REC TRIM STPCD	00F ~ 30F	STOP CODE 記録位置の微調整	01F
32:PQ-REC TRIM CUETN	00F ~ 30F	CUE TONE 記録位置の微調整	00F
33:PQ-REC EDIT TRIM	00F ~ 30F	PQ-REC EDIT ON 開始点の微調整*	13F
34:PQ-REC PLAYBACK	DISABLE	PQ-REC (PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効	
	ENABLE	PQ-REC (PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効	

* 33:PQ-REC EDIT TRIM について 補足

PQ-REC EDIT TRIM は VTR の EDIT ON タイミングを微調整できます。

VTR が EDIT ON するまでのディレイ時間を設定します。

デフォルト設定では、VTR（HDW-2000,HDW-A2100）が EDIT ON するまでのディレイ時間が 8 フレームなので余白を加算して 13F に設定されています。

加算した 5 フレームは余裕を見るため。（U-BIT プレートは 1 フレームディレイ）

このことは、8 フレーム前に EDIT ON コマンドを ATTACHMENT から投げることで VTR の EDIT ON タイミングと書き込み開始位置が一致することになりますが、安全を見て 13F をデフォルトとしています。

PQ-PB 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
40:PQ-PB UP TIME STP	00S00F ~ 30S00F	STOP CODE での PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	00S00F
41:PQ-PB UP TIME CUE	00S00F ~ 30S00F	CUE TONE での PQ-PB CUE UP 点の時間設定*	00S00F
42:PQ-PB TRIM STPCD	00F ~ 30F	STOP CODE での VTR 停止位置の微調整	04F
43:PQ-PB TRIM CUETN	00F ~ 30F	CUE TONE での VTR 停止位置の微調整	04F
44:PQ-PB STOP MODE	STOP	CUE UP 時 STOP で停止	
	STILL	CUE UP 時 STLL で停止	

* PQ-PB UP TIME について 補足

PQ-PB UP TIME は、ON AIR 開始点を基準にマックス方向の静止時間を設定します。PQ-REC TIME は必ず PQ-PB UP TIME より 3 秒以上マックス方向に設定して下さい。(STOP CODE 及び CUE TONE が DETECT STOP 位置より手前に記録されている必要があります)

BEEP 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
50:DET-BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザーで鳴らす	
	BEEP2	検出音を大ブザーで鳴らす	
51:DET-BEEP MODE	PQPB	PQ-PB 動作時のみ検出音を鳴らす	
	ALL	常時検出音を鳴らす	
52:DET-BEEP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中に検出音を OFF	
	ENABLE	ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす	
53:ERROR-BEEP SW	DISABLE	ERROR 時 (号機灯ブリンク時) ブザーを鳴らさない	
	ENABLE	ERROR 時 (号機灯ブリンク時) ブザーを鳴らす	
54:PQ-PB ERROR-BEEP	DISABLE	PQ-PB 異常終了時ブザーを鳴らさない	
	ENABLE	PQ-PB 異常終了時ブザーを鳴らす	

ON AIR 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
60:DET STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止する	
61: PLAY/PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR タリ-受付時コマンドを発行しない	
	PLAY	ON-AIR タリ-受付時 PLAY コマンドを発行	
	PQ-PB	ON-AIR タリ-受付時 PQ-PB コマンドを発行	
62:REM PLAY-C ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける	
63:REM PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける	
64:REM STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける	
65:VTR INHI ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	ON-AIR 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする*	

* 65:VTR INHI ON-AIR について 補足

ON AIR 中 VTR の LOCAL KEY 設定を MAP にするには、VTR の不揮発性 RAM 設定を変更しなければなりません。

(50P の 22ピンを LOCAL DISABLE MAP **71,00,55,FC,03,00**)

REMOTE 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
70:REMOTE STATUS OUT	REM	VTR が REM 時のみ REMOTE STATUS を出力	
	LOC&REM	VTR が LOC 時にも REMOTE STATUS を出力	
71:REMOTE REC-C SEL	REC-C	REC-C を受けると REC する	
	REC-C&PLAY-C	REC-C と PLAY-C を同時に受けると REC する	
72:REC-C TCG PRESET	DISABLE	REMOTE REC 時 TCG-PRESET しない	
	09:59:30:00	REMOTE REC 時 09:59:30:00 を PRESET する	
	09:59:45:00	REMOTE REC 時 09:59:45:00 を PRESET する	
73:REM PLAY-C 50PIN	DISABLE	PLAYorPQPB 時 9P のみ PLAY コマンドを発行	
	ENABLE	PLAYorPQPB 時 50P へ PLAY コマンドを発行	
74:REM STOP MODE SEL	STOP	STOP-C を受けると STOP する	
	STILL	STOP-C を受けると STILL する	
75:REM STOP- S SEL	STOP&STBY	VTR 停止中かつドラムが回転中 STOP-S を出力	
	STOP	VTR 停止中 STOP-S を出力	
76:VTR INHI REMOTE	DISABLE	REMOTE 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にしない	
	ENABLE	REMOTE 中 VTR を LOCAL DISABLE/MAP にする*	

* 72:REC-C TCG PRESET について 補足

REC-C TCG PRESET は REC-C を受けると MENU で設定した値を TCG PRESET して REC RUN 動作をします。

TCG PRESET の COLOR FRAMING は OFF を設定します。

TCG PRESET の DF/NDF は DF モードを設定します。

* 76:VTR INHI REMOTE について 補足

この設定は MCI-3000 では機能しません。

SYSTEM 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
F0:UNIT ID	000 ~ 255	機器番号を設定します *1	000
F1:IP ADDRESS	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP ADDRESS を設定します	192.168.001.250
F2:IP SUBNET MASK	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します	255.255.255.000
F3:MAC ADDRESS	表示のみ	Ether NET の MAC ADDRESS を表示します	機器に依ります
F4:MAINTENANCE	000 ~ 999	メンテナンスでの機器テスト等で使用します	000

F0:UNIT ID について

LAN 使用時は 001 ~ 255 の間で設定して下さい。

機器番号管理等で使用します。

F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “ 192.168.001.250 ” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “ 255.255.255.000 ” に設定されています。
サブネットマスクを設定して下さい。

F3: MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。
物理アドレスが表示されます。

F4: MAINTENANCE について

メンテナンスで使用します。

設定 “ 110 ~ 119 ” で SET 釦を押すことにより、フロントパネルの LED
及びブザー音チェックが出来ます。

ランプ及びブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。

設定 “ 130 ” で SET 釦を押すことにより REMOTE スルーチェック
モードに入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。
REMOTE スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての
TALLY LED がそのまま返り点灯します。

外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパラレル接点出力の動作確認を
するのに便利です。

設定 “ 140 ” で SET 釦を押すことにより REF チェックモードに
入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。

REF 入力があるとき CUE UP 灯が点灯します。

設定 “ 141 ” で SET 釦を押すことにより CUE DETECT チェックモード
に入ります。機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。

CUE TONE 信号を発生します。

CUE TONE 信号を受けると CUE UP 灯が点灯します。

CUE TONE 信号のレベルを確認したり、CUE TONE 検知が正常に機能
しているかチェックできます。

設定 “ 210 ” で SET 釦を押すことによりファームリスタートモードに
入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)

設定 “ 290 ” で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR 疑似発生
モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入して下さい。

6-2 . MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に READY スイッチと SET スイッチを同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

電源投入時、READY と SET 以外のスイッチは押さないように注意して下さい。

6-3 . ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコードを表示します

ERROR 表

エラー表示	エラー内容	処置内容
E1010:EXT REF ER	本機への REF が入力されていない	A
E1011:REF TYP ER	本機へ SYNC スイッチ設定と違う REF 信号が入力されている	A
E1020:VTR COM ER	VTR との RS422 通信でエラーが発生しました	A
E1030:VTR H/W ER	VTR のハードウェア異常	B
E1040:VTR REF ER	VTR に REF が入力されていない	A
E1050:VTR LOCAL	VTR が LOCAL になっています	A
E1060:REM50P OFF	VTR の REM50P が OFF になっています	A
SYSTEM ERROR ~	自己診断テストで H/W 故障や致命的エラーが発生しました。	C

NOTE . A 設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては VTR の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

7 . その他の機能

AUTO EDIT 自動解除機能について

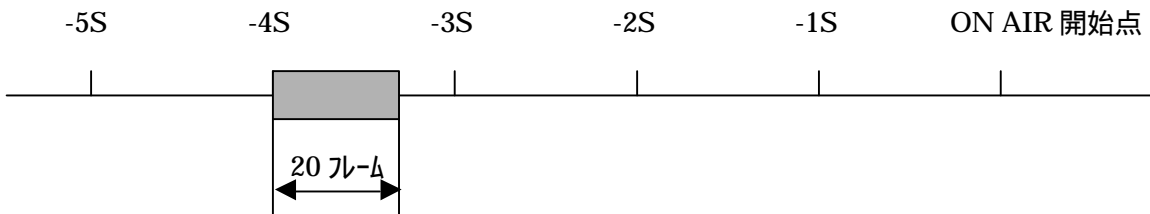
- (a) REMOTE コネクタから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C, PQ-REC-C を受けると VTR のコントロールパネルで設定したイサート、アングル状態を解除します。
- (b) PANEL コネクタから PQ-PB-C ,PQ-REC-C を受けると VTR のコントロールパネルで設定したイサート、アングル状態を解除します。

8 . P Qフォーマット

8-1 . ストップコード記録フォーマット

種類 : SMPTE のタイムコード、ドロップフレームモード (LTC のユーザーズビットを使用)
 記録トラック : タイムコードトラック
 記録位置 : 下記参照
 記録ノ再生レベル : 2.4Vp-p(10K)/2.4Vp-p(H inp)
 停止位置 : ON AIR 開始点

ストップコード記録位置



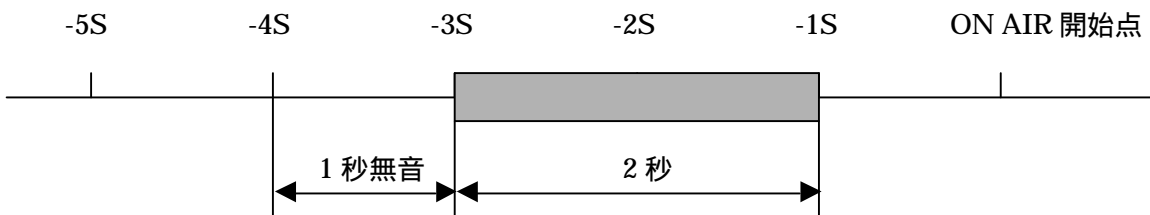
ユーザーズビットの STOP CODE 一覧表

TIME CODE	BG8-7 (チェックサム)	BG6-5 (データー通し No)	BG4-3 (コードタイプ)	BG2-1 (スタートコード)
00	0xDA	0x13	0x13	0xFF
01	0xDB	0x12	0x13	0xFF
02	0xDC	0x11	0x13	0xFF
03	0xDD	0x10	0x13	0xFF
04	0xDE	0x0F	0x13	0xFF
05	0xDF	0x0E	0x13	0xFF
06	0xE0	0x0D	0x13	0xFF
07	0xE1	0x0C	0x13	0xFF
08	0xE2	0x0B	0x13	0xFF
09	0xE3	0x0A	0x13	0xFF
10	0xE4	0x09	0x13	0xFF
11	0xE5	0x08	0x13	0xFF
12	0xE6	0x07	0x13	0xFF
13	0xE7	0x06	0x13	0xFF
14	0xE8	0x05	0x13	0xFF
15	0xE9	0x04	0x13	0xFF
16	0xEA	0x03	0x13	0xFF
17	0xEB	0x02	0x13	0xFF
18	0xEC	0x01	0x13	0xFF
19	0xED	0x00	0x13	0xFF

8-2 . 確認用キョー記録フォーマット

種類 : トップキョー (400Hz)
記録トラック : キョートラック
記録位置 : 下記参照
記録レベル : +4dBm
停止位置 : ON AIR 開始点

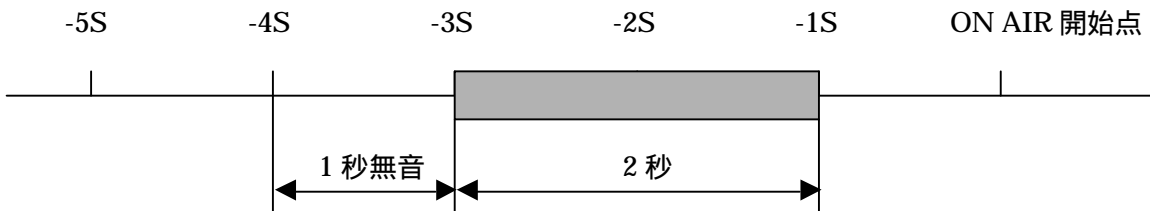
シングルキョートーン(400Hz)記録位置



8-3 . カム用 PQ 検出フォーマット

種類 : トップキョー (400Hz)
再生トラック : アナログ音声 CH-2 トラック
検出位置 : 下記参照
再生レベル : +4dBm
停止位置 : ON AIR 開始点

シングルキョートーン(400Hz)記録位置



PQ 検出条件は 1 秒以上の無音かつ 1 秒以上の 400Hz 期間が必要です。

9 . 一般仕様

9-1 . 一般

電源	: AC100V ±10%、50/60Hz
消費電力	: 50VA 以下
動作温度	: 5 ~ 40
使用湿度	: 20% ~ 60%
外形寸法	: 482 × 88 × 400mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部を除く)
質量	: 約 6Kg

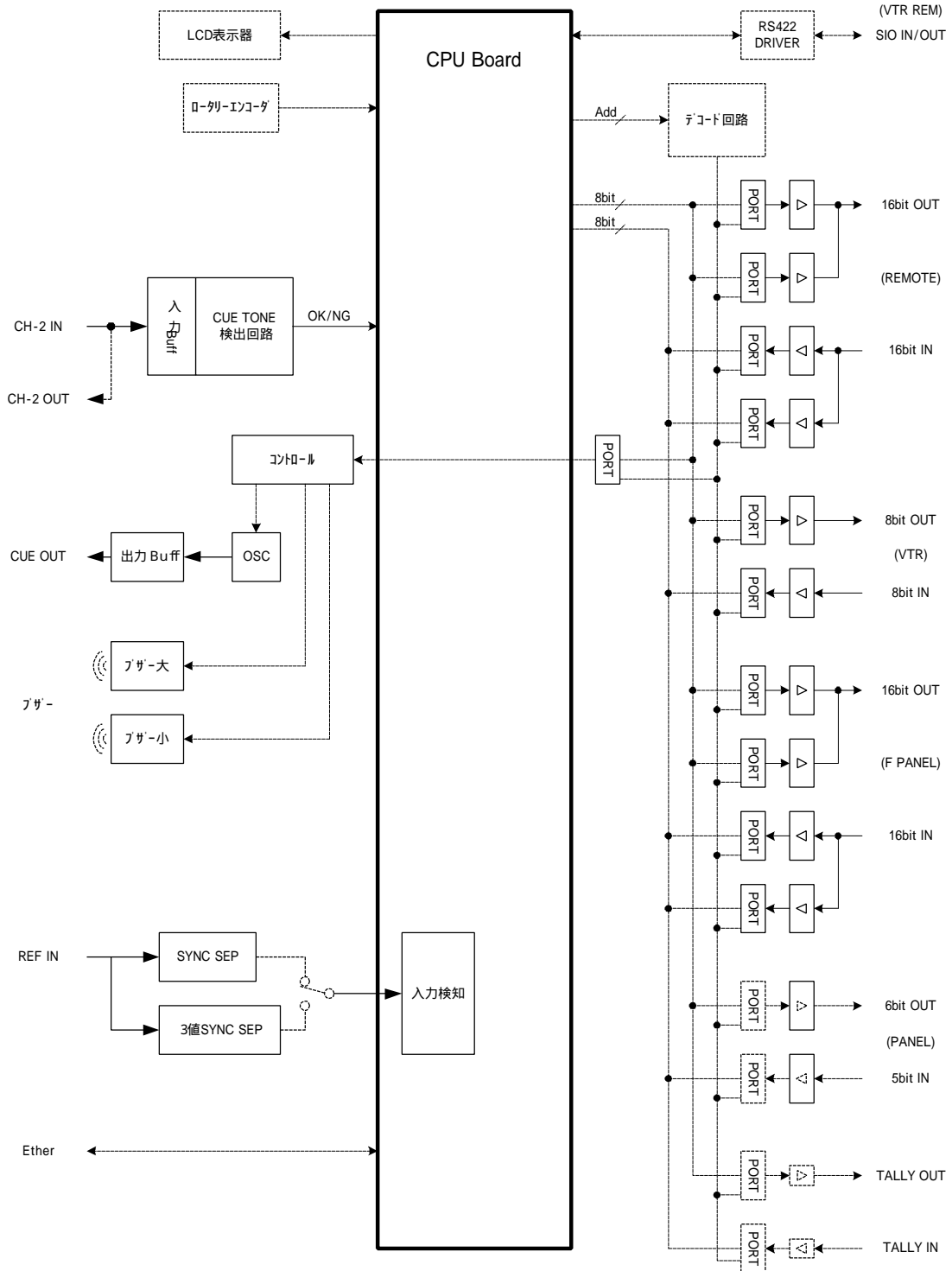
9-2 . 入出力

REF IN	: 3 値 SYNC 0.6V(75 終端時) 525i / 59.94 B.B 0.45V(75 終端時)
CH-2 IN	: +4dBm
CH-2 OUT	: +4dBm
CUE OUT	: +4dBm

9-3 . 付属品

- : VTR50PIN ケーブル (1.5m) × 1
- : D-SUB37 ピンコネクタ / フード × 1
- : AC 電源コード × 1
- : AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み) × 1
- : 号機名称フィルム (V - 1 ~ V - 9) × 1 セット
- : ラックヤ- × 1 セット
- : 本° レーションマニュアル × 1

10. 概要ブロック



1 1 . 接続参考図

